

## 農学特別研究Ⅰ (2単位)

担当者氏名 根岸寛光・雨木若慶・河合義隆・小島弘昭・篠原弘亮・杉山信男・長島孝行・馬場 正・  
本橋 強・森田茂紀・山口正巳

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

各指導教授の下および授業担当教員の指導の下で、農学専攻における研究上および教育上の理念等を学ぶとともに、研究者としての倫理を確立することにより、自立した研究者としての専門性と人間性を強化し、研究テーマの策定から始まり、研究計画の立案やその実施、さらにはこれまでに培った研究実績を再評価しつつ、今後の研究の円滑な遂行が可能となるようにする。個々においては各自の研究テーマの目的を明らかにし、その独自性や新規性を明確にするとともに、種々の問題解決手法を策定・構築しそれを実施できるようになることを目標とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

作物学 遺伝育種学 植物病理学 応用昆虫学  
園芸学

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本科目の意義および授業進行方法のガイダンス	本授業では、各回ごとに各専門の指導教員の指示する内容について事前に準備を行うとともに、授業の都度指導教員から与えられる指摘事項や助言を参考として、その後の研究活動等の実施に際して改善等に努めること。
2	農学研究の理念	農学研究の意義やその目的	
3	研究倫理	研究実施に際して求められる倫理	
4	研究の背景	既往の研究成果の探索と評価	
5	学位論文テーマ策定(1)	受講者自身の研究実績の評価	
6	学位論文テーマ策定(2)	上記評価に基づく研究目標の選択	
7	学位論文テーマ策定(3)	研究目標候補についての新規性・独自性の評価	
7	学位論文テーマ策定(4)	上記評価に基づく研究テーマの策定	
8	学位論文の構成(1)	具体的な問題点の抽出と課題の設定	
9	学位論文の構成(2)	設定された課題の農学研究上の意義設定	
10	研究方法(1)	課題解決のための具体的手法の検討	
11	研究方法(2)	上記手法の習得	
12	研究方法(3)	習得された技法等の評価と伝達	
13	研究の実施計画(1)	研究計画の立案	
14	研究の実施計画(2)	上記計画の妥当性評価	
15	研究の実施計画(3)	研究実施に向けての調整	

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)  
授業の際に各授業担当者からその都度指示

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)  
各専門分野の学会等から発行される専門誌等

## ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

受講態度を重視し、熱意なども加味して評価する

## ◆オフィスアワー

各授業担当者の授業終了後 1 時間

◆その他受講上の注意事項

---